

事業番号	16 01 18	事業改善シート(28年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	科学捜査力充実事業				担当課	部局	警察本部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	鑑識課		
	施策の総合的展開	4-2 県民生活の安全確保 1 犯罪のない安全な社会づくり			E-mail	police-kanshiki@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針				実施期間	S29 ~		
	施策展開							

1 事業の概要

目指す姿	科学捜査資機材の整備・充実により、鑑定業務や鑑識活動の効率化を図り、巧妙化・広域化・スピード化する犯罪に迅速かつ的確に対処して、犯罪の早期解決を図るとともに、収集した証拠の綿密な分析による事件立証を行い、県民が安全に暮らすことができる社会の実現を目指す。				
現状(予算編成時)	裁判員裁判制度の定着化、犯罪死見逃し防止のための死因究明制度等、捜査を取り巻く環境の変化により、客観証拠を重視した捜査の確立が求められ、時代の要請に応じた最先端の機器整備による科学捜査力の強化、整備が急務となっている。				
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法 刑法、刑事訴訟法、犯罪捜査規範			
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)				
	○ DNA型鑑定実施率80%以上				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H28事業実績		H29
			(当初)	(決算)	(当初)
	1. 鑑定・検査用試薬等消耗品	直接	・DNA型鑑定試薬、指紋情報管理システム等消耗品		18,277
	2. 各種鑑定用機器部品交換等	直接	・鑑定用機器の部品交換		821
3. 各種鑑定用機器保守等	直接	・鑑定用機器の保守点検		9,477	
4. 各種鑑定用機器のリース等	直接	・鑑定用機器のリース料、鑑定機器の整備		83,773	
5. 各種学会負担金	直接	・鑑定技術向上のための各種学会への参加		173	
合計		112,521	109,784	112,613	

事業コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	112,795	112,521	112,613				目標	成果		達成状況
	補正予算				DNA型 鑑定実施率	81.1%	100.0%	80.0%	71.2%	未達成	70.0%
	合計(A)	112,795	112,521	112,613							
	一般財源	112,795	112,521	112,613							
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	110,292	109,784								
概算人件費											
職員数(人)	0.01	0.01	0.01								
概算人件費(C)	83	79	79								
概算事業費(B(A)+C)	110,375	109,863	112,692								

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 刑事裁判においては、客観証拠を柱とする事実認定がますます重視されているので、高度な科学技術を活かした鑑定が不可欠であり、今後とも科学捜査力を充実していく必要がある。
--------------------	---